

第3次甲州市観光振興計画の検証結果

○K P I（重要業績評価指標）に基づく3つの基本施策の検証

基本施策1 来訪者に対する受け入れ体制の整備強化

項 目	指 標	
	令和3年	令和4年
レンタサイクルの使用者数	1,980人/年	2,649人/年
観光ボランティアガイド登録者数	114人	136人

◆主な事業内容

- ・「甲州市レンタサイクル条例」に基づき、塩山駅、勝沼ぶどう郷駅、勝沼支所においてレンタサイクル55台を活用し、レンタサイクル事業を運用した。
また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、スポーツタイプを30台購入し、充実化を図った。
- ・おもてなし体制充実事業の一環として、ボランティアガイド養成講座を年6回実施し、延べ114人が受講した結果、登録者数が22人増加した。

◆評価

- ・レンタサイクルの設置が広く認知され、利用者が増加した。
- ・観光ボランティアガイド登録者数が増加しており、来訪者に対する受け入れ体制の強化が図られている。

基本施策2 観光資源の磨き上げと発掘

項 目	指 標	
	令和3年	令和4年
歴史的資産活用イベント	28回/年	30回/年
広域連携観光事業	1回	4回
外国人宿泊者数（※）	39人	135人

※山梨県観光入込客統計調査報告書の四半期別・圏域別推計宿泊数一覧のうち大菩薩
恵林寺周辺と勝沼ぶどう郷駅周辺の合計人数

◆主な事業内容

本市の歴史的資産を誘客促進の手段の一つである観光資源と捉え、次のとおりイベントを開催した。

- ・2月から4月にかけて、甘草屋敷を主会場にひな飾りと桃の花まつりを開催した。(期間中に宮光園でコンサートを開催)
- ・ある〜く甲州推進協議会の事業として寺社仏閣にスポットを当てたフットパス等のウォーキングイベントを開催した。
- ・甲府市、笛吹市、山梨市、甲州市の四市連携事業として、名古屋市及び大阪市での観光キャンペーンの実施及び四市を跨いで巡る周遊キャンペーンを実施した。

◆評価

- ・新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和され、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図る方針が国から示されたことにより、前年比では来訪者が増加傾向にあり、外国人宿泊者数も増加したと考えられるが、コロナ禍前の水準には戻っていないため、さらなる誘客促進を図る必要がある。
- ・世界農業遺産認定を機に広域連携観光事業等で歴史的資産を活用したイベント等を実施することにより、ワインや果物狩りに歴史的背景を絡めた付加価値を高める効果が期待できる。

基本施策3 情報発信と人的ネットワークの構築

項目	指標	
	令和3年	令和4年
協会ホームページユーザー数	337千人	331千人
協会ツイッターインプレッション数	1,448千人	1,532千人
市内鉄道駅乗降者数	1,358千人	3,092千人

◆主な事業内容

- ・フルーツ娘、観光大使、観光キャラクターの参加による観光キャンペーン等のプロモーション事業を実施した。
- ・制作会社等からのドラマやコマーシャルの撮影場所の提供依頼に対応するフィルムコミッションを年7回実施した。
- ・塩山駅の利用率向上を図るため、観光案内所を移設し新たにオープンした。

◆評価

- ・新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和されたため、観光パンフレットの配布による宣伝に併せて、SNSや動画配信を積極的に活用し、幅広い層への情報発信を行った。
そのため、協会ツイッターインプレッション数は増加し、本市に興味を持つ人が増加傾向であると言えるが、協会ホームページユーザー数がわずかに減少しているため、観光情報等をより分かりやすく発信する等対策を講じ、増加を図る必要がある。
- ・令和5年3月に協会ホームページをリニューアルしたため、ユーザー数等を検証し、より魅力のある情報発信の強化を図る必要がある。
- ・新たな観光案内所では、来訪者への情報提供だけでなく、ワインの試飲販売やジェラートの販売等も実施し、立ち寄りやすい環境づくりに努めた。
今後は、駅前広場を活用したイベントを開催し、賑わいの醸成を図るとともに利用者等の意見を参考にし、一層のサービス向上に努める必要がある。